

お知らせ・会務報告

日本甲虫学会第5回大会のご案内

日本甲虫学会第5回大会を次の要領で開催することになりました。会員の皆様には奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。次号では、さらに詳細についてご案内できる予定です。

大会概要

- 会場： 倉敷市立自然史博物館・倉敷市立美術館（岡山県倉敷市中央2-6-1）
 会期： 2014年11月22日（土）～23日（日）
 主催： 日本甲虫学会 主管 日本甲虫学会第5回大会事務局（倉敷市立自然史博物館内）
 共催： 倉敷市教育委員会・倉敷市立自然史博物館
 後援： 倉敷市立自然史博物館友の会・倉敷昆虫同好会・岡山昆虫談話会

大会日程

第1日：11月22日（土）

| | |
|---------------------------------|-------------|
| 大会受付開始 | 09：30～ |
| 評議員会 | 10：00～12：00 |
| 総会 | 13：00～14：00 |
| 日本甲虫学会賞授与式・受賞講演 | 14：00～14：30 |
| 公開シンポジウム「甲虫類の知られざる生態—甲虫生態学最前線—」 | 14：30～16：45 |

趣旨：野外で甲虫を見つけるには、生息環境や出現時期、寄主などの生態に関する知識が不可欠である。私たち甲虫屋は、採集するための生態に関連した知識は豊富に持っていることは間違いない。しかし、一部のグループの甲虫を除けば、室内飼育を含め甲虫の生き様を詳しく観察する機会は意外と少ないかもしれない。今回のシンポジウムでは、行動を含めた甲虫の生態研究を行っている研究者をお招きし、最新の研究成果を発表していただくことにした。このシンポジウムを通じて、甲虫の生態の奥深さ・面白さを改めて考える機会にしたい。

コーディネーター 林 成多

話題提供

「わかっているようでわかっていない！？ゲンジボタルの配偶行動」…川野敬介（下関教委）

「イモムシハンター・クロカタビロオサムシの得手不得手」…杉浦真治（神戸大院・農学）

「闘う、飛ぶ、それとも物陰に潜む？ヨツボンケシキスイのオスの巧みな戦術」…岡田賢祐（岡山大院・環境生命科学）

「アカマダラハナムグリは鳥の巣で育つ」…越山洋三（フィールドデータ・岡山県赤磐市）

討論 「甲虫の生態研究は面白い」

懇親会（ホテル日航倉敷） 18：00～20：00

第2日：11月23日（日）

| | |
|------------------|--------------------------|
| 標本同定会（公開）・ポスター発表 | 9：10～10：50 |
| 一般講演（口頭発表） | 11：00～12：00, 13：00～15：45 |
| 分科会 | 16：00～17：00 |

*時間は都合により変更する可能性があります。

参加費（予定）

- ・大会参加費 1,000円、高校生以下は無料（ただし、要旨集実費）
- ・懇親会費 一般7,000円、同伴者・学生5,000円

参加費は当日徴収しますが、本大会は事前申し込みが原則です。懇親会は、飛び入り参加はできません。

参加および発表申込み

できるだけ電子メールで次のように行ってください。トラブル防止のため、返信をご確認ください。メールでの申込みができない方は、事務局（担当：奥島）までファックスか郵便でお申込みください。

申込み先アドレス（奥島、ただし9MBまで）：musoku@city.kurashiki.okayama.jp

〈大会・懇親会参加申込み〉

10月11日までに、次の内容をお知らせください。

- 1) 氏名
- 2) 一般・学生の別
- 3) 所属名（名札に入れます）
- 4) 専門分野（名札に入れます）
- 5) 連絡先住所
- 6) 連絡先電話
- 7) メールアドレス
- 8) 懇親会参加の有無（同伴者の有無）
- 9) 予約宿泊施設名および宿泊日（倉敷市内のみ、補助金申請のためご協力お願いします）
- 10) 同定会講師の協力の有無

〈発表申込み〉

8月31日までに、口頭・ポスターの別、発表題目、共同発表の場合は全員の氏名・所属と発表者氏名をお送りください。ただし、時間・スペースがいっぱいになり次第、受付を終了させていただきます。なお、申込み件数が多い場合には、発表者1名につき1題とさせていただきます場合があります。10月11日までに、講演要旨（全角40字×14行以内、図含む）を提出してください。

〈分科会申込み〉

8月31日までに、世話人と分科会名をお知らせください。パソコン、プロジェクタが必要な場合はお早目にお申込みください。最大6会場です。

〈広告の掲載〉

講演要旨集（B5判、200部発行予定）に掲載する広告を募集します。半ページ5,000円、1ページ10,000円です（モノクロ）。10月11日までに、そのまま印刷できる電子データをお届けください。

発表者の方へ

〈口頭発表〉

1題につき15分間、発表12分と質疑3分とします。発表が終わりましたら、次の講演の座長をお願いします。大会の使用パソコンはWindows 7、ソフトはPower Point 2007を予定、ファイルの保存メディアはCD-R、DVD-R、USBメモリが利用可能の見込みですが、詳細は9月案内をご確認ください。必ずウィルスチェックを行い、事故に備えてバックアップをおもちください。ウィルスが発見された場合には、発表をお断りすることがあります。動画再生をご希望の方はあらかじめご相談ください。

〈ポスター発表〉

1題につき縦172.5cm×横115cmのスペースに収まるようにご用意ください。大会1日目の朝から掲示可能ですので、ご自身での掲示をお願いします。掲示用品は会場にあります。ポスター発表の時間帯には、できるだけ会場で説明をお願いします。2日目の分科会開催前までにご自身で撤収をお願いします。

〈分科会〉

分科会での講演者の方もできるだけ講演要旨の提出をお願いします。発表機器の操作はそれぞれの分科会で行ってください。会場は当日ご案内します。

〈標本同定会〉

甲虫類標本の同定会を行います。ご所蔵の同定未解決の標本をお持ちよりください。なお、同定依頼する標本は必ずマウントされ、データラベル付きのものにしてください。

その他

★大会参加者の方は会期中、倉敷市立自然史博物館の展示がご覧いただけます（9：00～17：15）。受付で名札をお見せください。新着資料展開催中です。

〈前後泊される方へ〉

大会前日：11月21日（金）

★岡山大学附属図書館資源植物科学研究所分館（旧大原農研）が利用いただけます（9：00～17：00）。大会会場から南へ約200m。昆虫関係の古い文献が充実しています。コピー可（35円/1枚）。大会当日は休館日です。TEL 086-434-1204 URL <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/ipsrlib/index.html>

★倉敷昆虫館の見学が可能です（9：30～17：00、13：00～14：00休）。大会会場から北東へ約1km。岡山県産の古い標本や地方の同好会誌などが充実しています。TEL 086-422-8207 URL http://www.shigei.or.jp/ento_museum/

大会翌日：11月24日（月・祝）

★倉敷市立自然史博物館の収蔵庫を公開します（9：00～17：00）。閲覧ご希望の方は奥島までご連絡ください。大会当日は収蔵庫のご案内はできません。

会場周辺には、美観地区、大原美術館、アリオ・MOPなどの大型ショッピングモールなどの見どころもたくさんあります。

宿泊案内および昼食について

事務局では斡旋しませんので、各自でご予約ください。会場周辺からJR倉敷駅周辺にかけては多数のホテルがありますが、例年混雑が予想される時期ですので、お早目のご予約をお勧めします。

参考サイト「倉敷情報ボックス」<http://www.kurashiki.or.jp/>

昼食については会場周辺のコンビニ、レストランなどをご利用ください。会場内では、休憩室を除き、食べ物の持ち込みはご遠慮ください。

交通案内

JR・自家用車利用の場合（右図参照）

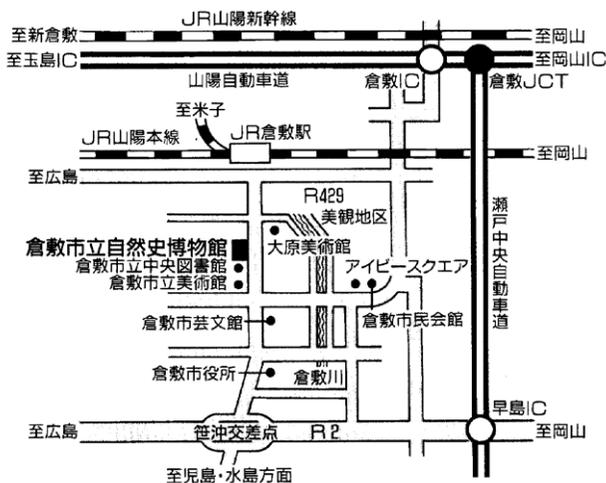
新幹線をご利用の場合は岡山駅か新倉敷駅で山陽本線に乗り換えとなります。自家用車の方はホテルの駐車場か有料駐車場をご利用ください。

岡山空港利用の場合（URL <http://www.okayama-airport.org/>）

岡山空港へは札幌・東京・沖縄から定期便があります。岡山・倉敷へは路線バスがあります。

高速バス利用の場合（URL <http://www.navitime.co.jp/highwaybus/33>）

倉敷・岡山へは関東以西の各地から高速バスがあります。



大会事務局

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1 倉敷市立自然史博物館

「日本甲虫学会第5回大会事務局」担当：奥島雄一

電話：086-425-6037 FAX：086-425-6038

奥島e-mail: musoku@city.kurashiki.okayama.jp